令和６年度　学校評価結果

いわき市立泉中学校

１　生徒の活動について

○　保護者・教職員評価ともに、「部活動や係活動への積極的な参加」、「好ましい友達関係の構築」の項目で高い評価結果となり、生徒が生き生きと充実した学校生活を送っていることがうかがえる。生徒の取組や努力の成果を積極的に認め、保護者や地域住民へ情報発信をしていくことが今後も肝要である。

●　「社会や学校のルール、マナー等の意識」の項目では、保護者と教職員の評価に差が見られる。また、「意欲的な学習への取り組み」の項目では、保護者・教職員ともにやや低い評価結果となっている。教育相談等の機会を捉えて、学校と家庭での子どもの姿を共有するとともに、生徒指導において保護者の協力を得ながら取り組むことが大切である。さらに、日々の授業を充実させながら、ＩＣＴ機器を効果的に活用して個に応じた支援を行っていくことで、生徒の学習意欲を高めさせていきたい。

２　教育活動全般について

○　保護者・教職員評価ともに、「楽しく充実した学校生活」、「授業の充実」、「心を育てる指導」の項目で高い評価結果となっている。また、「一人ひとりの子どもの理解」の項目では昨年度の結果をやや上回る評価となっている。**【１　生徒の活動について】**同様、生徒が安心して授業や諸活動に取り組むとともに、生徒会活動や学校行事等を通じて思いやりや協力、ルールを守るといった態度の育成を今後も続けていきたい。

●　「保護者がいつでも相談できる雰囲気」の項目は、保護者・教職員ともにやや低い評価となった。問題発生時の生徒指導や教育相談だけでなく、日頃から生徒の取組や努力の成果を称賛し、保護者と共有する姿勢が今後必要となる。また、教職員間での情報共有を密にして、生徒に寄り添った指導を心がけていきたい。

３　教育環境について

○　保護者・教職員評価ともに、「感染症予防に留意した学校行事の取組」の項目で高い評価結果となっている。今年度も新型コロナウイルスや季節性インフルエンザの蔓延が危惧される時期については、生徒会活動や学校行事をリモート（生徒は活動の様子を各教室で視聴する）で実施した。活動の幅は制限されるが、生徒の安全管理を第一に考え、今後も状況を見据えながら対応を検討していきたい。

○　「施設・整備の整備や充実」、「危険箇所や外部からの侵入者等への配慮」の項目では、保護者と教職員の評価に差が見られるものの、高い評価結果となっている。経年劣化による校舎内の破損等は一定数見られるものの、今後も生徒の安全や怪我の防止の観点から市教育委員会等と相談しながら修繕にあたっていきたい。また、日常的な校舎巡視や不必要箇所の確実な施錠を今後も励行し、外部からの侵入についても対策を講じていきたい。

４　開かれた学校について

○　保護者・教職員評価ともに、「学校ＨＰや各種便りによる発信」、「メール配信等による情報提供」の項目で高い評価結果となっている。施設環境により保護者が来校できる機会が少ないため、学校ＨＰ等による情報発信への期待が高い。今年度も生徒の教育活動の様子や部活動大会等の結果を中心に日常的に記事を掲載してきた。また、一斉メールでは行事等の連絡や不審者情報、保護者への依頼等を随時配信した。今後も先を見据えながら、必要となる情報等についてこまめに発信していきたい。